

丹波篠山市ふるさとの森づくり構想（改訂案）に対するパブリックコメントの概要と回答

- 1 受付期間 令和7年1月21日から2月20日まで
- 2 メール、郵送、ファックス等によるパブリックコメント
- (1) 意見の数 4人、10件
- (2) 提出された意見の概要及び提出意見に対する回答

番号	該当箇所	意見の概要	回答
1	第1章 丹波篠山市ふるさとの森づくり構想改訂の背景と目的 3 これまでの取組の評価と改定の趣旨	実績のほかに、評価が必要である。これを受けて構想には改正の趣旨を記載すべき。	ご意見を反映し、修正します。
2	第2章 丹波篠山市の森の将来像 3-1 人工林の姿	多面的機能回復エリアを具体的にし、優先順位をつけて森林施業プランナーなどの施業提案をされては。	原案の通りとしますが、ご意見を参考にして取り組みます。
3	第3章 基本理念と基本方針	基本理念をもう少し定量的にしては。 「丹波篠山の木を使う」についてはまず全体像を明らかにしては。	原案の通りとします。 第4章アクションプランの各プロジェクトでできるだけ目標値を定量化しています。 丹波篠山市公共建築物等にお

			ける木材の利用促進に関する基本方針等により全体像を明らかにします。
4	第4章 アクションプロジェクト	事業達成までのロードマップを作成し、進捗確認しながら進めてほしい。	<p>原案の通りとしますが、ご意見を参考にして取り組みます。</p> <p>ご意見の通り、進捗確認を行うことは重要なことと考えていますので、今回のふるさとの森づくり構想改定員会を母体に進捗管理を行う予定です。</p>
5	第4章 アクションプロジェクト 1 「木とふれあい、木に学び、木と生きる（木育）の推進（1）森に目を向ける人づくり②森への意識を高めるプロジェクト	市内の山主、市民団体、自治会、林業事業体等に対し、市内の山林への関心度、現状、行政への要望についてアンケートやヒアリングを実施いただき、結果を公表していただきたい。	<p>原案の通りとしますが、ご意見を参考にして取り組みます。</p> <p>これまでも機会ごとに、意見集約を行ってきております。結果の公表や施策への反映など取り組みます。</p>
6	第4章 アクションプロジェクト	安全に薪を取得するために、麒麟の森などでの研修は必要。技術的な講習の後、各地域での整備を兼ねた、薪取りの機会があればいいと思います。	原案の通りとしますが、ご意見を参考にして取り組みます。

	ト 1 「木とふれあい、木に学び、木と生きる（木育）の推進 （2）森で行動する人づくり ③森を手入れし、管理する人材づくりプロジェクト	森に入るハードルが高いと感じている。もっとスピーディーに事業としては入れる形が欲しい。	森林整備等で生じた林地残材の活用などに取り組みます。
7	第4章 アクションプロジェクト ト 1 「木とふれあい、木に学び、木と生きる（木育）の推進 （3）仕事として森にかかわる人づくり ⑥自伐型（環境創造型）林業家育成プロジェクト	市内林業事業体に協力を仰ぎ、林業を志す方が現場で長期的に研修を受けられるような制度があればよい。 自伐型育成支援の目標値が、18人は多すぎないか。	原案の通りとしますが、ご意見を参考にして取り組みます。 森林組合などの現行林業に続く新たな担い手育成を森林整備との調整を図りながら取り組みます。
8	第4章 アクシ	森林総合監理士、木材コーディネーターの育成支援は、市内事業体よりも市	原案の通りとします。

	<p>ョンプロジェクト 1 「木とふれあい、木に学び、木と生きる（木育）の推進（3）仕事として森にかかわる人づくり ⑦森の専門家育成プロジェクト</p>	<p>職員等行政の中で育成していただきたい。</p>	<p>市職員として育成は難しいと考えます。市としては必要に応じて国県等との連携により、専門知識の活用を図ります。</p>
9	<p>第4章 アクションプロジェクト 1 森の恵みの復活（4）多面的機能を発揮する森づくり ⑧人工林管理大作戦プロジェクト</p>	<p>再造林のための施工（植え付け）をしてもらいたい。 広葉樹林をふやすのがいいとは思いますが、自然に任せていただけでは、時間がかかりすぎる気がするので、ある程度設計して（マツとか）植え付けを行い、針葉樹と広葉樹の更新を行なってほしい。</p>	<p>原案の通りとしますが、ご意見を参考にして取り組みます。 すでに取り組んでいる人工林等広葉樹林化事業等によります針葉樹と広葉樹の混交林化を図ります。</p>
10		<p>ふるさとの森づくり構想改訂委員会提出案とパブリックコメントで公表された案に大幅な変更がある。意思決定のプロセスとして問題があると思われる。10年に1回話し合えば終わりではなく、日頃からのコミュニケーションが必要と考える。</p>	<p>改定委員会案の趣旨をそこなわず、市民等へわかりやすい表現にさせていただきます。 今後におきましてもふるさと</p>

			の森づくり構想にかかわる方々とコミュニケーションを取りながら、本構想を進めていきます。
--	--	--	---